

事業名 **特別支援学級生活介助事業**

[0399]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	教育内容の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内小中学校の特別支援学級
意図	一人ひとりの教育的ニーズに則した指導の実現を図る。
	手段 特別支援学級を設置している小中学校に生活介助員(非常勤)を配置し、消耗品費用を配分している

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	市内小中学校の特別支援学級数	学級	30	34	37	45	
対象指標2							
活動指標1	生活介助員数	人	21	21	23	24	
活動指標2							
成果指標1	教職員(特別支援学級教員及び介助員)1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.85	1.94	2.1	1.9	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	39,923	37,065	40,672	43,563	0
正職員人件費(B)		千円	1,612	1,605	1,619	1,611	0
総事業費(A)+ (B)		千円	41,535	38,670	42,291	45,174	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持: 現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
- 見直し: 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止: 23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規: 25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			